

# うさぎ組

## 毎日のあそび

スリーヒントゲームの他にもカルタ遊びも子ども同士で遊んでいます。「私、読んであげる」と読み札を手にしています。「取れた」と嬉しそうに遊んでいます。工作で考えた野球セットで大リーグのような姿がありました。年長組のコマ回しを見せてもらうと一気にやる気が出てきたようで挑戦をする子どもの姿が増えてきました。



ひとつずつ指で押さえてね

みて～きらきらしてる！



こおりが  
いっぱい！

## 氷を見つけたよ！

急に寒くなった日・・・園庭のたらいの中にできた氷を見つけたり、滑り台でシャリシャリになっている氷を見つけたりして大興奮の子ども達でした。「水で洗ったら、キラキラになった」など子どもらしいつぶやきがたくさんありました。氷が小さくなるとカップに入れて「かき氷屋さん～いちご味です！」とお店屋さんが開店していました。



シャリシャリしてる

## ほけんの話

今回のほけんの話は冬の時期に大切なことを3つお話いただきました。①鼻のかみ方・・・鼻の穴をひとつずつ押さえてフンとすることを実際にやってみました。②口のまわりを鍛える「あいっぺ体操」もみんなでした。口をしっかりと閉じることができるよう顔の筋肉を動かしていました。③最後には「はないきおばけとくちいきおばけ」の話を聞きました。毎回田中先生の話を楽しみにしている子ども達です。

いくよ～



あ～い～  
う～べ～

ちょっとむずかしいな～



## 海を作ったよ

ラッコごっこで遊ぶときに使うワカメや岩、雲などを少しずつみんなで作りました。できあがったものを使うと子ども達のイメージも膨らんでいきました。中には「ワカメが少ないからもっと増やそう」「この岩のところに貝があるねん」



みんなこっちよ

## お話の遊び (いたずらラッコのおなべのほし)

ラッコの生活の遊びではそれぞれがお母さんやおじいちゃん、ロッコなどになって遊びました。お母さんになった子はラッコの子ども達に貝の場所を教えたり、潜り方を教えたり忙しそうにしています。大男に捕まってしまった時にはみんなでどうしたら逃げるかできるのかと相談をして、ジャンプをする、梯子のようにつながる、鍋をたたくなどアイデアが出てきました。星を抜くときには友達の体を引っ張って力を合わせるなどお話の世界を楽しんでいます。グループごとに友達を見ているのを見ることでイメージも少しずつ膨らんでいるようです。



## お話始まるよ

壁を海のような色合いにしていると、折り紙を使って貝やカニ、タコ、イカ等、生き物が増えていきました。魚が増えると自分で作ったペープサートを手に友達と海の中で遊び始めていました。紙コップのペープサートを前に「ラッコのお話がはじまりますよ～」の声にお客さんも集まりお話が始まりました。

ラッコがおよいでいます



ほら、もっとひっぱって!



どうしたらみんなで逃げるかできるか



おおおとこにつかまらないぞ!



みんなにげられるかな?

